

「畜産経営における暑熱対策」

温暖化は年々進行しており、今年5月に発表された気象庁の3か月予報（6～8月）によると、多くの地域で例年より暑くなることが予想されています。

家畜・家きんには健康的に過ごすことができる適温域が存在し、適温域より高い温度でも体温を一定に保つことができますが、ある一定温度（臨界温度）を超えると体温を調節できなくなり、食欲の減退やそれに伴う生産性の低下につながります。

暑熱が家畜・家きんおよび畜産経営に与える影響は非常に大きいため、本格的に暑くなる前に暑熱対策を始めましょう。

<畜舎環境対策>

・ 送風機の清掃

プロペラファンにホコリが付着したり、フィルターが目詰まりすると、送風量が低下します。清掃を行うことで、ファンの能力を最大限に引き出します。さらに、送風機等のベルト点検や清掃等の保守点検作業は、機器の性能回復や負荷低減につながり節電効果を高めます。

・ 細霧装置の利用と注意点

送風機に細霧装置を組み合わせることで、牛の体感温度を下げる効果が高まります。ただし、夜間など湿度が高い場合は、送風機のための運転やこまめに換気を行うなどしましょう。



細霧装置と送風機

・ 遮光ネット、グリーンカーテンの設置

遮光ネットやグリーンカーテンを畜舎の側面に設置することで畜舎内の温度上昇を抑えることができます。どちらも低コストで取り組みやすい対策です。

設置の際は、家畜に直射日光が当たっていないか、ネット等の隙間から通風されているかを確認しながら行いましょう。



畜舎側面への遮光ネットの設置

・ 新鮮で十分な飲み水の確保

家畜が新鮮な水を常に飲めるよう、水量が十分か、水槽が汚れていないかを確認し、こまめに清掃を行いましょう。



飼槽を清掃している様子

・ 涼しい時間帯の給餌

気温の上昇により家畜・家きんの食欲は低下し、採食量は減少します。

採食量の減少を抑えるため、涼しい時間帯に給餌する、給餌回数を増やすなどの工夫をしましょう。

また、配合飼料の食べ残しは変敗しやすいため、飼槽をこまめに清掃し清潔な飼槽を保つとともに、新鮮な飼料を給与しましょう。

暑熱対策につきましては、下記の農林水産省ホームページに資料や情報がありますので、参考にしてください。

【農林水産省ホームページ畜産 家畜生産・畜産環境等】

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_tiku_manage/index.html

中予家畜保健衛生所	東温市田窪 743-1	TEL 089-990-1333
畜産研究センター	西予市野村町阿下 7-156	TEL 0894-72-0064
畜産研究センター養鶏研究所	西条市福成寺乙 159	TEL 0898-66-5004

